

**令和5年度第2回
関東地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会
議 事 概 要**

- 1 開催日時：令和6年2月29日（木）11時00分～12時00分
- 2 開催場所：関東地方整備局 共用AV会議室504（一部Web方式）
- 3 出席委員
委員長 大野正英 麗澤大学 経済学部 教授
委員 政木道夫 シティユーワ法律事務所 弁護士
〃 三谷和歌子 田辺総合法律事務所 弁護士（Web）
〃 村野昭人 東洋大学 理工学部 教授
〃 山田務 筑波大学 ビジネスサイエンス系客員教授
（委員は五十音順）
- 4 議 事
（1）令和6年度関東地方整備局コンプライアンス推進計画（案）について
（2）関東地方整備局発注者綱紀保持マニュアルの一部改正（案）について

【主な意見】

- ・ 来年度の計画において、今までの実施状況やアンケート結果等職員の意見を取り入れて、改善につなげている様子が窺われる。
- ・ 身近な事例を紹介するのは、身につまされるのでコンプライアンスの意識付けに良い。
- ・ 一生懸命やろうと思うと、負荷が増えてしまうというのはよくあるので、一番重要なのは実効性であり、全体の中でバランスを取りながら見直しを考えていると感じた。
- ・ 所属独自の取組紹介があったが、現場からの動きというのは非常に重要だと思うので、共有し、他の所属に良い波及があればいいと思う。
- ・ 「風通しの良い職場づくり」としては、話を聞いてもらえる体制がある、ということが重要。
- ・ 不祥事の類型には、組織の利益のために不正をするというものがあるが、そうした誤った使命感を抱かせることがないよう、日頃から意見交換等で情報共有し、自分たちの思いを伝えて正しい意識付けをすることが大事。

以上